

# 特色インクガイド

## WH MT

### はじめに確認すること

パソコンにインストールしている VersaWorks のバージョンを確認し、仕様に合った取扱説明書をご覧ください。

VersaWorks ロゴ	取扱説明書
	本書
	
 VersaWorks 6	<a href="https://webmanual.rolanddg.com/VersaWorks6">https://webmanual.rolanddg.com/VersaWorks6</a>

ホワイトインク、メタリックシルバーインクをお使いの場合は、必ずお読みください。

本書では、ホワイトインクおよびメタリックシルバーインクの特徴、注意事項、メンテナンス、およびそれらのインクを使った印刷方法について説明しています。その他の事柄については、お使いのプリンターの『セットアップガイド』および『ユーザズマニュアル』をご覧ください。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を、正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、この取扱説明書を必ずお読みいただき、大切に保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください。
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

本ソフトウェアおよび本マニュアルの著作権は、ローランド ディー・ジー・株式会社 にあります。本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual は、ローランド ディー・ジー・株式会社の登録商標です。

Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium® は、米国インテル社の登録商標です。

Macintosh は、米国 Apple Inc. の登録商標です。

Adobe、PostScript、PostScript 3、及び Illustrator は、Adobe Systems Incorporated ( アドビシステムズ社 ) の米国ならびに他の国々における商標または登録商標です。©2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

ソフトウェアアプリケーションまたはユーザー用資料に表示されている PANTONE® カラーは、PANTONE が指定する規格に適合していない場合があります。正確なカラーについては、現在の PANTONE カラー出版物でお調べください。PANTONE® および Pantone LLC の他の商標は Pantone LLC が所有しています。© Pantone LLC, 2012.

Pantone LLC は、ローランド ディー・ジー・株式会社にライセンスを提供したカラーデータおよびソフトウェアの所有権を有しており、Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual との併用のみを目的とした使用を許可しています。Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual を実行する環境でない場合は、PANTONE カラー データまたはソフトウェアを他のディスクやメモリーにコピーすることはできません。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。



# 目次

目次 .....	1
<b>第1章 準備編.....</b>	<b>3</b>
本書の前提と関連マニュアル .....	4
本書の前提.....	4
関連マニュアルについて .....	4
作業前に知っておきたいご注意とヒント .....	5
重要：インクの特性と注意事項 .....	5
プリント&カット時のミドルピンチローラーの使用について .....	5
「引戻し印刷」を行う場合.....	6
メディア巻取装置を使用する場合のご注意 .....	6
透明なメディアを使用する場合のご注意.....	7
補助乾燥装置を使用する場合のご注意 .....	7
ブレンド印刷とレイヤー印刷について .....	8
印刷データの作成.....	10
印刷データ作成の考え方.....	10
印刷データを作成する.....	10
<b>第2章 印刷編.....</b>	<b>17</b>
はじめに .....	18
印刷を始める前に.....	18
メディアについて.....	18
印刷モードについて .....	19
メタリックシルバーを使う場合 .....	19
印刷設定 .....	20
メタリックカラーチャートを印刷する .....	20
メタリックシルバーのみで印刷する .....	22
ブレンド印刷（メタリックシルバー + CMYKLcLmLk） .....	24
レイヤー印刷（メタリックシルバー → CMYKLcLmLk） .....	26
レイヤー印刷（CMYKLcLmLk → メタリックシルバー） .....	28
ホワイトのみで印刷する.....	30
ホワイトと CMYKLcLmLk で印刷する.....	32
ホワイトとメタリックシルバーと CMYKLcLm で印刷する .....	35
印刷開始.....	39
印刷を開始する .....	39
<b>第3章 詳細編.....</b>	<b>41</b>
引戻し印刷 .....	42
引戻し印刷（ホワイト → メタリックシルバー /CMYKLcLm） .....	42
引戻し印刷（メタリックシルバー /CMYKLcLm → ホワイト） .....	49
メタリックテキストチャ印刷.....	56
メタリックテキストチャ印刷とは .....	56
メタリックテキストチャのパターンを確認する.....	56
メタリックテキストチャを使ったデータを印刷する.....	58
より進んだ操作.....	60
ジョブごとに印刷設定を行う .....	60
特色版を生成する.....	61
特色版の位置を補正する.....	62
特色版のサイズを補正する .....	64

メンテナンス .....	66
インク循環のメッセージ .....	66
色ムラやドット抜けが直らない場合は .....	66

# 第1章 準備編

本書の前提と関連マニュアル .....	4
本書の前提 .....	4
関連マニュアルについて .....	4
作業前に知っておきたいご注意とヒント .....	5
重要：インクの特性と注意事項 .....	5
プリント&カット時のミドルピンチローラーの使用について .....	5
「引戻し印刷」を行う場合 .....	6
メディア巻取装置を使用する場合のご注意 .....	6
透明なメディアを使用する場合のご注意 .....	7
補助乾燥装置を使用する場合のご注意 .....	7
ブレンド印刷とレイヤー印刷について .....	8
印刷データの作成 .....	10
印刷データ作成の考え方 .....	10
印刷データを作成する .....	10

# 本書の前提と関連マニュアル

## 1

### 準備編

## 本書の前提

- 本書は、Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual に対応しています。
- 本書では、Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual を総称して「VersaWorks」と呼びます。
- 本書に掲載されている説明や操作手順は、次の作業がすべて完了していることを前提としています。
  - ▶ プリンターの組み立てや設置など、ハードウェアのセットアップ。
  - ▶ VersaWorks のコンピューターへのインストール、プリンターとコンピューターの接続などのソフトウェアのセットアップ。
  - ▶ プリンターの操作方法の習得（プリンターの操作方法については、プリンター付属のマニュアルを参照してください）。
- 本書は、以下に対応しています。使用していないインクについて書かれている箇所は読み飛ばしてください。
  - ▶ ホワイトとメタリックシルバーの両方を搭載したプリンター
  - ▶ ホワイトインクのみを搭載したプリンター
  - ▶ メタリックシルバーインクのみを搭載したプリンター

## 関連マニュアルについて

VersaWorks の基本的な使い方や、詳細な使い方については下記を参照してください。

### ヘルプ

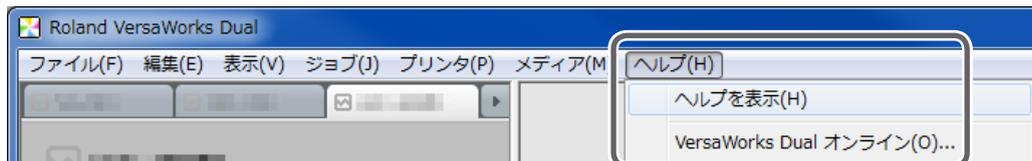
ソフトウェアに組み込まれたマニュアルです。ソフトウェアの基本的な使い方から詳細な設定方法まで、ソフトウェアの機能のすべてについての説明が記載されています。

### VersaWorks/VersaWorks Dual オンライン

弊社ウェブサイト上のページです。出力用データ作成のノウハウやソフトウェアの最新情報などを掲載しています。

URL : <https://www2.rolanddg.co.jp/support/color/rvw/index.html>

ヘルプと VersaWorks/VersaWorks Dual オンラインは、VersaWorks のメインメニューから表示できます。



# 作業前に知っておきたいご注意とヒント

1

準備編

## 重要：インクの特性と注意事項

ホワイティンクおよびメタリックシルバーインクの取り扱いには、他の色のインクにはない大切なご注意があります。必ずインクの特性をご理解いただいたうえでお使いください。

### ホワイティンク、メタリックシルバーインクは沈殿します

放置すると沈殿した成分が固まり、プリントヘッドが目詰まりするなどの故障につながります。必ずこの説明書のご注意をお守りください。

### メンテナンスが必要です

- ・メイン電源は常にオンにしておいてください。メイン電源をオフにすると自動メンテナンス機能が働かなくなり、故障の原因になります。
- ・1週間に一度はプリンターを動かすことをおすすめします。
- ・長期間使用しないと、インクが沈殿して吐出が不安定になること（ドット抜けなど）があります。そのような場合は、沈殿して固まったインクを排出する必要があります。お使いのプリンターのユーザーズマニュアルを参照して適切なクリーニングを実施してください。
- ・クリーニングを実施してもドット抜けなどが直らない場合は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

### インクの乾燥について

- ・出力後、インクは十分乾燥させてください。特にホワイティンクやメタリックシルバーインクは高濃度で印刷する必要があるため、その他のインクより乾きにくいのでご注意ください。
- ・補助乾燥装置の使用をおすすめします。
  - ※ BN-20 など補助乾燥装置を装着できない機種もあります。
  - ☞ P.7「補助乾燥装置を使用する場合のご注意」

### ラミネート加工を強くおすすめします

ホワイティンクおよびメタリックシルバーインクの耐候性は、条件によってはその他のインクより劣ることがありますので、ラミネート加工することを強くおすすめします。

## プリント&カット時のミドルピンチローラーの使用について

※ BN-20 にはミドルピンチローラーはありません。

ホワイティンクおよびメタリックシルバーインクは乾きにくいいため、プリント&カットを行うと、ミドルピンチローラーが印刷面を汚します。ホワイティンクおよびメタリックシルバーインクを使用してプリント&カットを行うときは、左右2つのピンチローラーでメディアを固定してください。ただし、使用するメディアによっては、メディアが浮き上がったり、印刷、搬送、カット品質などに影響が出たりする場合があります。お使いのメディアを確認したうえで使用してください。

## 「引戻し印刷」を行う場合

### 引戻し印刷とは

引戻し印刷とは、印刷済みのメディアをいったん元の位置に引戻してもう一度印刷を重ねる印刷方法のことです。例えば、はじめにホワイトインクやメタリックシルバーインクで印刷し、その上にその他のインクを重ねます。

### インクを十分乾燥させること

- ・ インクを十分に乾かしてから次の色を重ねてください。乾燥が不十分のままインクを塗り重ねると、きれいに印刷できなかつたり耐候性が低下したりします。
- ・ 乾燥時間は条件によって異なりますが、オプションの補助乾燥装置 (DU シリーズ) を使用し、なおかつ 15 分以上放置することを目安としてください。
  - ※ BN-20 など補助乾燥装置を装着できない機種もあります。
- ・ 特に、ホワイトまたはメタリックシルバーの下地の上にその他のインクを重ねる場合には、下地を十分に乾燥させてください。下地の乾燥が不十分だと、乾燥の違いによって、後から印刷するその他のインクの色味が変わることがあります。

### ミドルピンチローラーの使用について

※ BN-20 にはミドルピンチローラーはありません。  
メディアを引き戻すとき、ミドルピンチローラーは印刷面を汚すことがあります。引戻し印刷をするときには、左右 2 つのピンチローラーだけでメディアを固定することをおすすめします。

### メディア巻取装置を使う場合は「マキトリ 2」

引戻し印刷のときにメディア巻取装置を使用する場合は、「シート / センタク」で「マキトリ 2」を選択してください。詳しくは、お使いのプリンターの『ユーザーズマニュアル』にて「メディア巻取装置を使用する」を参照してください。

## メディア巻取装置を使用する場合のご注意

- ※ メディア巻取装置は、標準装備の機種とオプション装備の機種があります。
  - ※ BN-20 にはメディア巻取装置は装着できません。
- ホワイトインクおよびメタリックシルバーインクは乾きにくいいため、メディア巻取装置を使用すると、メディアの種類によってはメディアや印刷面が汚れます。また、ミドルピンチローラーを外した状態でメディア巻取装置を使用すると、メディアの種類によってはうまく巻き取れなかつたりメディアが浮き上がったるほか、印刷、搬送、カット品質に影響が出る場合があります。お使いのメディアとの相性を確認したうえで、メディア巻取装置を使用してください。

## 透明なメディアを使用する場合のご注意

### 透明なメディアの取り付け

- ※ BN-20 には [エッジ ケンシュツ] メニューが無いため、この内容は該当しません。
- [エッジ ケンシュツ] メニューを「ムコウ」に設定してください。この設定をしないと、透明なメディアはセットアップできません。
- メディアの前端から出力開始位置までの余白を 75mm 以上とってください。

### メディアの残量に注意すること

- 透明メディアの場合、メディアの有無は検出されません。メディアがなくなっても印刷動作が止まらず、プラテンなどをインクで汚したり、インクが内部に入って機器を傷めたりする恐れがあります。
- 印刷の途中でメディアがなくなったら、直ちに印刷を中断してください。

### ミドルピンチローラーの使用について

※ BN-20 にはミドルピンチローラーはありません。

ミドルピンチローラーを使うとメディアに押さえた跡が少し残りますが、透明なメディアではこの跡が目立ちやすくなります。また、印刷後に透明なメディアを引き戻すと、ミドルピンチローラーが印刷面を汚します。透明なメディアを使用するときは、左右2つのピンチローラーでメディアを固定してください。ただし、使用するメディアによっては、メディアが浮き上がったり、印刷、搬送、カット品質などに影響が出たりする場合があります。お使いのメディアを確認したうえで使用してください。

### クロップマークの自動読み取りについて

透明なメディアなど、メディアによってはクロップマークの自動読み取りはできません。この場合は、手動で位置合わせをしてください。

## 補助乾燥装置を使用する場合のご注意

- ※ 補助乾燥装置はオプション装置です。
- ※ BN-20 には補助乾燥装置は装着できません。

### 当社推奨の補助乾燥装置 (DU シリーズ) をご使用ください

推奨品につきましては、本機をお買い上げの販売店または当社ウェブサイト (<http://www.rolanddg.co.jp/>) にてご確認ください。

### [オプション ドライヤー] メニューを「ユウコウ」に設定してください

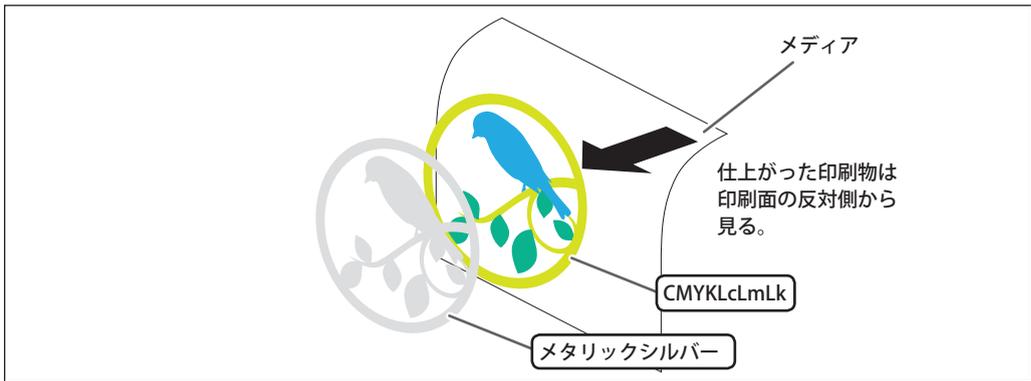
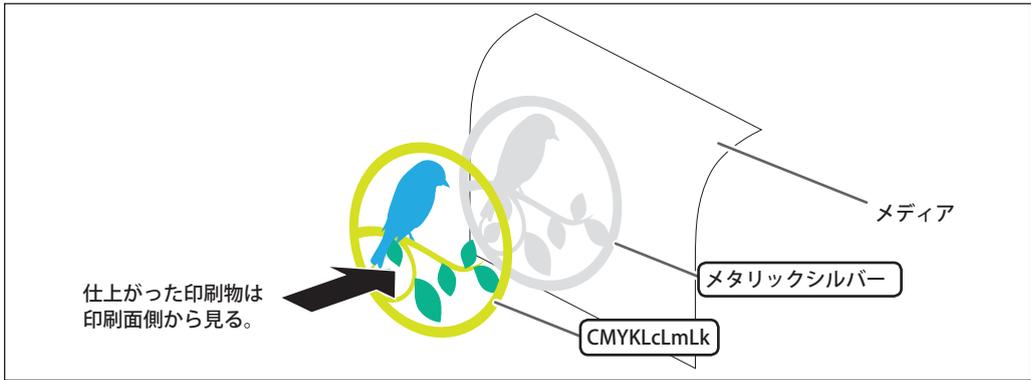
本体の動作を補助乾燥装置に連動させるために必要な設定です (当社推奨の DU シリーズをご使用の場合に限ります)。



## レイヤー印刷

メタリックシルバー と CMYKLcLmLk を別々の層で印刷します。印刷物の仕上げ方に合わせて、印刷する層の順番が選べます。

(印刷のイメージ図)



# 印刷データの作成

1

準備編

## 印刷データ作成の考え方

### ホワイトインクを使用する場合

「RDG\_WHITE」という名前のスポットカラーを、ホワイトインクで印刷したい部分に指定します。

### メタリックシルバーインクを使用する場合

メタリックシルバーインクを使った印刷では、次の2つの方法で印刷データを作成できます。

- **メタリックシルバーインクのみを使用するようにスポットカラーを指定する。**

「RDG\_MetallicSilver」という名前のスポットカラーを、メタリックシルバーインクで印刷したい部分に適用します。

- **専用のメタリックカラー特色ライブラリを使用する。**

専用のメタリックカラー特色ライブラリから、CMYKLcLmLk インクとメタリックシルバーインクを配合したメタリックカラーを選択して使用します。

## 印刷データを作成する

ホワイトまたはメタリックシルバーインクを使用して印刷するためのデータを作成します。

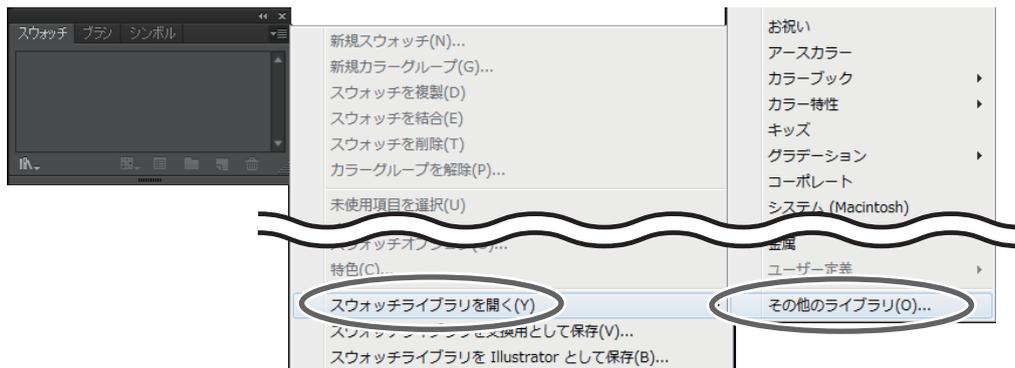
ここでは、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS6 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS6 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

### 1. 専用のスウォッチライブラリとカラーライブラリを開く。

- ① スウォッチパレットのメニューから [スウォッチライブラリを開く] → [その他のライブラリ] をクリックする。

「開く」(または「ライブラリを選択」) 画面が表示されます。

※ スウォッチパレットは、メニューから [ウィンドウ] → [スウォッチ] を選択すると表示されます。



## 2 専用のスウォッチライブラリを開く。

- ① 「コンピューター」→「OS (C:)」→「Program Files」→「Roland VersaWorks (または「Roland VersaWorks Dual)」」→「Swatch」→「Illustrator」の順にフォルダを開き、「Roland VersaWorks.ai」を選択する。

お使いのコンピューターの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

- ② [開く]をクリックする。

「RDG\_MetallicSilver」と「RDG\_WHITE」が入ったスウォッチライブラリが開きます。



## 3 専用のスウォッチライブラリを開く。

※ メタリックシルバーを使わない場合は、不要な作業です。

- ① 手順 2 と同じフォルダを開き、「Roland Metallic Color System Library.ai」を選択する。

お使いのコンピューターの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

- ② [開く]をクリックする。

メタリックシルバーインクと CMYK LcLmLk インクを配合した“メタリックカラー”が入ったスウォッチライブラリが開きます。



## メモ

手順 2 3 で選択した「.ai」ファイルを下記のフォルダに保存すれば、Adobe Illustratorのライブラリにそれぞれのスウォッチライブラリを登録できます。登録すると、Adobe Illustratorを起動するたびにファイルを探す必要がなくなり、スウォッチパレットメニューから直接ライブラリを開けるようになります。

C:\Program Files\Adobe\Adobe Illustrator CS6\Presets\ (言語の短縮名称) ¥スウォッチ

※ 「C」はお使いのコンピューターのローカルディスクです。

※ 「言語の短縮名称」はお使いの言語によって異なります。

※ お使いの Illustrator のバージョンによっては、「¥Presets\ (言語の短縮名称) ¥スウォッチ」が「¥プリセット¥スウォッチ」の場合があります。

## 2. イラストを作成し、印刷したい色に合わせてスポットカラーを指定する。

- ① イラストを作成する。  
イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。
- ② 印刷したい色に合わせてそれぞれのスポットカラーを指定する。

使用したいインクまたはカラー	スポットカラー名
メタリックシルバーインク	RDG_MetallicSilver
ホワイトインク	RDG_WHITE
メタリックカラー (メタリックシルバー／CMYKLcLmLk 混合色)	RVW-MT-Silver、RVW-MT-Bronze など



### メモ

メタリックシルバーインクを使う場合、CMYKLcLmLkインクとの掛け合わせによるブレンド印刷とレイヤー印刷ができます。

☞ P.8「ブレンド印刷とレイヤー印刷について」

### 3. PS ファイルを作成する。

※ VersaWorks Dual をお使いの場合は、PS ファイルではなく PDF ファイルとして保存することをおすすめします。

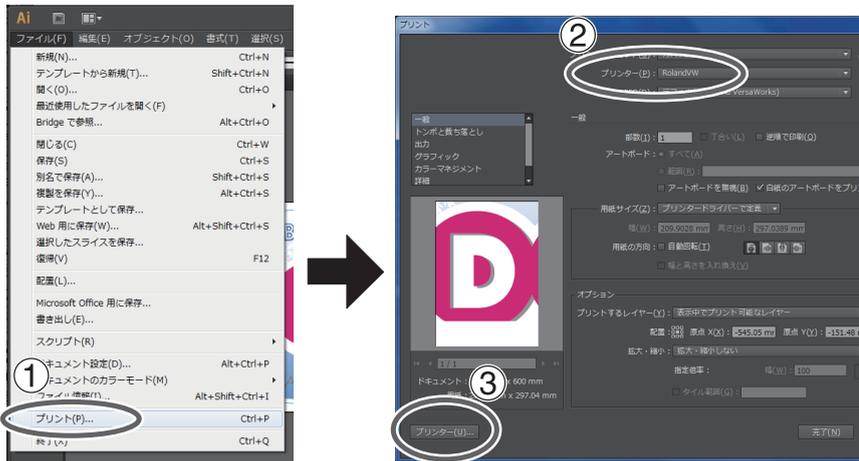
① 出力先に「Roland VWD」または「Roland VW」を選択する。

① メニューから「ファイル」→「プリント」を選択する。

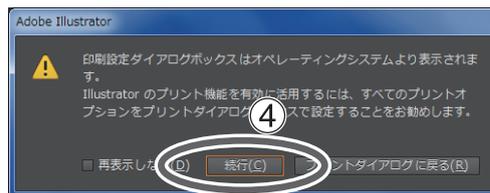
② 「Roland VW」を選択する。

ニックネームを設定している場合、もしくは、複数のプリンターを接続している場合は、「Roland VW\_(出力したいプリンターのニックネーム)」を選択します。

③ [プリンター] をクリックする。

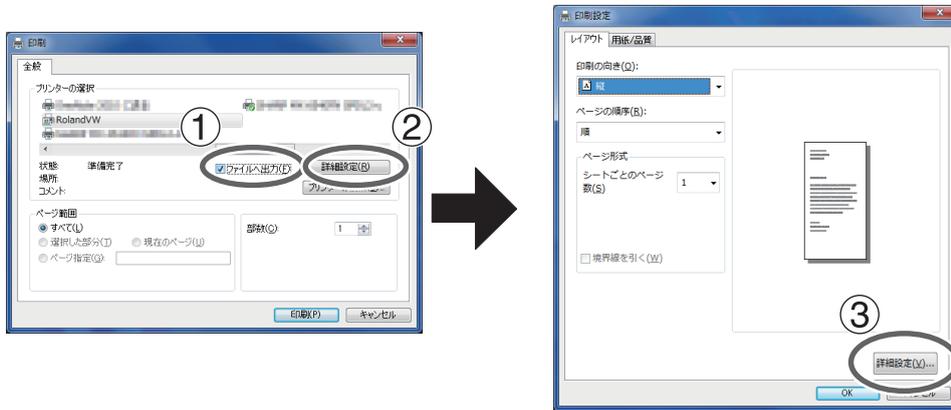


④ [続行] をクリックする。

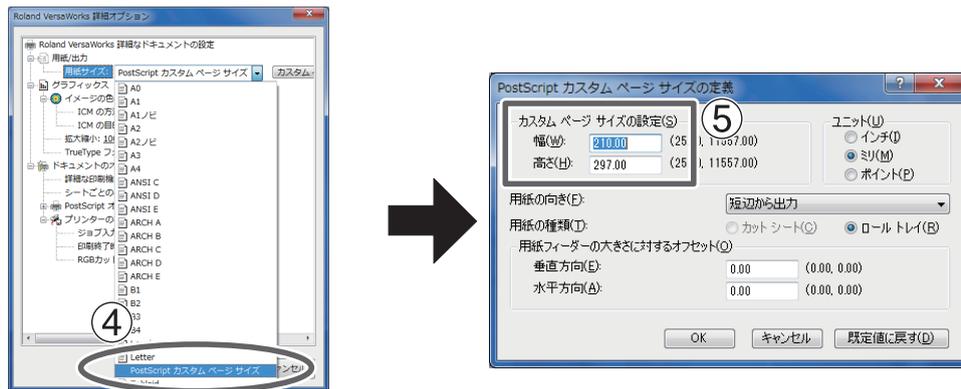


2 出力データのページサイズを設定する。

- ① 「ファイルへ出力」 にチェックを付ける。
- ② 「詳細設定」 をクリックする。
- ③ 「レイアウト」 タブ内の 「詳細設定」 をクリックする。



- ④ 「用紙サイズ」 として 「PostScript カスタムページサイズ」 を選択する。
- ⑤ 「カスタムページサイズの設定」 の 「幅」と 「高さ」 の各欄をそれぞれ入力する。  
手順 2. で作成したイラストと同サイズの数値を入力してください。

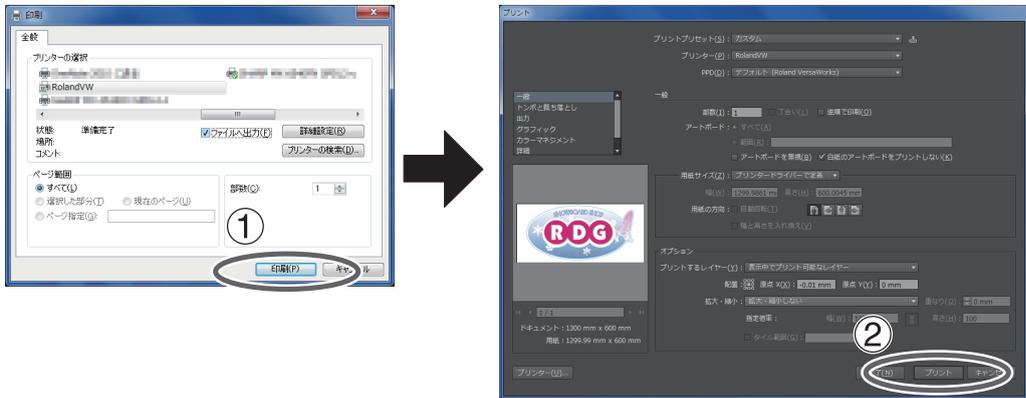


3 [OK] を 3 回クリックして、「PostScript カスタムページサイズの定義」、「Roland VersaWorks 詳細オプション」、「印刷設定」の各ダイアログを閉じる。

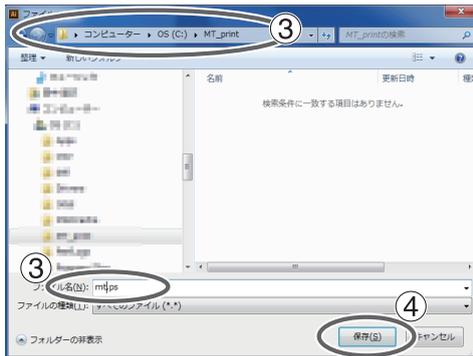
「印刷」ダイアログに戻ります。

## 4 出力データをファイルとして出力する。

- ① [印刷] をクリックする。
- ② [プリント] をクリックする。



- ③ 保存先とファイル名を指定する。  
例：保存先フォルダ「C:\¥MT\_print」、ファイル名「mt.ps」
- ④ [保存] をクリックする。  
指定したフォルダに PS ファイルが作成されます。





# 第2章 印刷編

はじめに.....	18
印刷を始める前に.....	18
メディアについて.....	18
印刷モードについて.....	19
メタリックシルバーを使う場合.....	19
印刷設定.....	20
メタリックカラーチャートを印刷する.....	20
メタリックシルバーのみで印刷する.....	22
ブレンド印刷（メタリックシルバー + CMYKLcLmLk）.....	24
レイヤー印刷（メタリックシルバー → CMYKLcLmLk）.....	26
レイヤー印刷（CMYKLcLmLk → メタリックシルバー）.....	28
ホワイトのみで印刷する.....	30
ホワイトと CMYKLcLmLk で印刷する.....	32
ホワイトとメタリックシルバーと CMYKLcLm で印刷する.....	35
印刷開始.....	39
印刷を開始する.....	39

# はじめに

## 印刷を始める前に

- ホワイトおよびメタリックシルバーインクのカートリッジまたはパウチトレイだけをいったん抜き、カートリッジまたはパウチトレイを 50 回（20 秒程度）振ってから再び差し込んでください。
- ホワイトおよびメタリックシルバーインク以外は、毎回振る必要はありませんが、新品を取り付けるときには振ってください。

2

印刷編

インクの成分が沈殿していると、正常な色で印刷ができません。インクの成分がよく混ざるように、カートリッジまたはパウチトレイの両端 5cm の振り幅で水平に振ります。

ホワイトおよびメタリックシルバーインクは成分が沈殿しやすい性質を持っています。その日に作業を始める前に、上記を必ず行ってください。放置すると沈殿した成分が固まり、故障などトラブルの原因になります。

### ご注意：TrueVIS シリーズをお使いの場合

- インクパウチを取り外さずに、パウチトレイごと振ってください。インクパウチを取り外すと、インクが漏れることがあります。
- 振る前にインクパウチの口についたインクをふき取ってください。ふき取らないと、パウチトレイを振るときにインクが飛び散ります。
- 攪拌が終了したら、すぐにパウチトレイを取り付けなおしてください。時間がかかると、インク経路に悪影響が出ます。

## メディアについて

メディアは用途に合わせて様々な紙質の種類を選択できます。メディアの選定にあたっては、必ずテストを行い、満足できる出力品質が得られるか事前に確認してください。

## 印刷モードについて

インクの種類や印刷方法、出力物の見せ方（印刷面側から見せる／印刷面の反対側から見せる）によって「印刷モード」の設定が必要です。

※ ホワイトとメタリックシルバーインクの両方を搭載している場合、Lk（ライトブラック）インクは使用しません。本書中の「Lk」の表記は読み飛ばしてください。

使用するインク色と印刷方法	印刷モード	ページ
CMYKLcLmLk のみで印刷	CMYKLcLmLk (v)	-
メタリックシルバーのみで印刷	MetallicSilver(v)	P. 22
ブレンド印刷（メタリックシルバー +CMYKLcLmLk）	CMYKLcLmLkMt(v)	P. 24
レイヤー印刷（メタリックシルバー → CMYKLcLmLk）	Mt -> CMYKLcLmLk(v)	P. 26
レイヤー印刷（CMYKLcLmLk →メタリックシルバー）	CMYKLcLmLk -> Mt(v)	P. 28
ホワイトのみで印刷	White(v)	P. 30
ホワイト → CMYKLcLmLk の順に印刷	W -> CMYKLcLmLk(v)	P. 32
CMYKLcLmLk →ホワイトの順に印刷	CMYKLcLmLk -> W(v)	P. 32
ホワイト →メタリックシルバー +CMYKLcLm の順に印刷	W -> CMYKLcLmMt(v)	P. 35
メタリックシルバー +CMYKLcLm →ホワイトの順に印刷	CMYKLcLmMt -> W(v)	P. 35

## メタリックシルバーを使う場合

メタリックシルバーインクを使う場合は、メタリックカラーチャートを使って色味を確認できます。メタリックシルバーを使う場合は、実際の印刷を行う前にメタリックカラーチャートを印刷してください。

⇨ P. 20「メタリックカラーチャートを印刷する」

# 印刷設定

※ ホワイトとメタリックシルバーインクの両方を搭載している場合、Lk（ライトブラック）インクは使用しません。本書中の「Lk」の表記は読み飛ばしてください。

## メタリックカラーチャートを印刷する

メタリックカラーチャートとは、メタリックカラーの印刷見本です。メタリックカラーチャートを印刷することで、「お使いのプリンター」と「お使いのメディア」で印刷できる特色メタリックカラーを確認できます。このカラーチャートから色を選び、その色でアートワークを作成すれば、意図した色をほぼ正確に再現することができます（プリンターやメディアのコンディションによるわずかなパターンの差はあります）。

### 手順

①  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



② [品質設定] と [カラー設定] を設定する。

①  をクリックし、[品質設定] と [カラー設定] を設定する。

印刷方法に合わせて設定してください。

- ☞ P. 22 「メタリックシルバーのみで印刷する」
- ☞ P. 24 「ブレンド印刷（メタリックシルバー + CMYKLcLmLk）」
- ☞ P. 26 「レイヤー印刷（メタリックシルバー → CMYKLcLmLk）」
- ☞ P. 28 「レイヤー印刷（CMYKLcLmLk → メタリックシルバー）」

② [OK] をクリックする。



### メモ

メタリックカラーチャートの印刷では、[品質] の設定項目は [入力のプロパティ] 画面の設定が適用されます。ジョブリストに追加された後では、[ジョブの設定] 画面で設定を変更できませんので、必ず [入力のプロパティ] 画面で [品質] の設定を実行してから以下の操作を実行してください。

### 3 メタリックカラーチャートの印刷ジョブをジョブリストに追加する。

① [メディア] - [Metallic Color Chart] をクリックする。

② ページサイズを確認する。

ページサイズに対してプリンターにセットされているメディアのサイズが不十分な場合は、十分なサイズのメディアと取り替えてください。

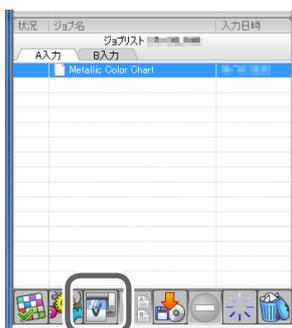
③ [OK] をクリックする。

メタリックカラーチャートの印刷ジョブがジョブリストに追加されます。



### 4 をクリックする。

印刷を開始します。



## メタリックシルバーのみで印刷する

ここではメタリックシルバーインクのみを使って印刷する方法を説明します。メタリックシルバーインクを使うには、メタリックシルバーインクを使うように色を指定した印刷データを使用する必要があります。

### 手順

2

印刷編

#### ① 印刷データを作成する。

⇒ P.10「印刷データの作成」

#### ② をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



#### ③ 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

##### ① をクリックする。

##### ② [用紙の種類] で「塩ビ一般1 [MT]」など、[MT] が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。[MT] 付を選択すると、メタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。



##### ③ [印刷品質] で「高品質」または「標準」を選択する。

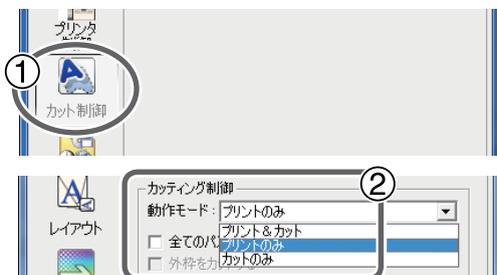
##### ④ [モード] で「MetallicSilver (v)」を選択する。

※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



**4** プリンターの動作を設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。

**5** [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 39「印刷開始」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

※ 手順④の[モード]で「CMYKLcLmLk (v)」を選択すれば、印刷データにて CMYKLcLmLk で指定している部分だけを印刷します。

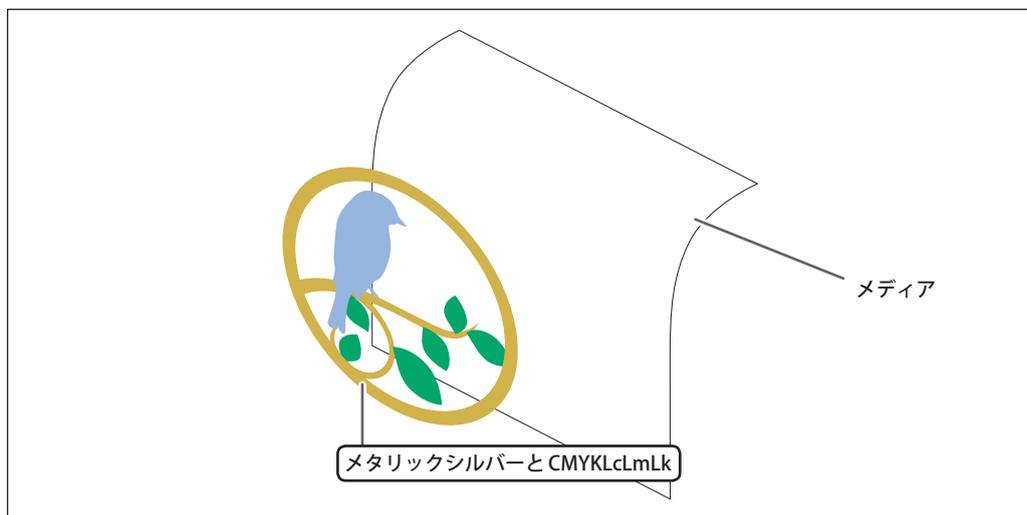
## ブレンド印刷（メタリックシルバー + CMYKLcLmLk）

ここでは、メタリックシルバーインクと CMYKLcLmLk インクをひとつの層に混ぜて（ブレンドして）印刷するブレンド印刷の方法を説明します。

⇨ P.8「ブレンド印刷とレイヤー印刷について」

ブレンド印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYKLcLmLk インクを使用するように指定した印刷データが必要です。

（印刷のイメージ図）



### 手順

- 1 印刷データを作成する。

⇨ P.10「印刷データの作成」

- 2  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



### 3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。

② [用紙の種類] で「塩ビ一般1 [MT]」など、[MT] が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。[MT] 付を選択すると、メタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。



③ [印刷品質] で「高品質」または「標準」を選択する。

④ [モード] で「CMYKcLmLkMt (v)」を選択する。

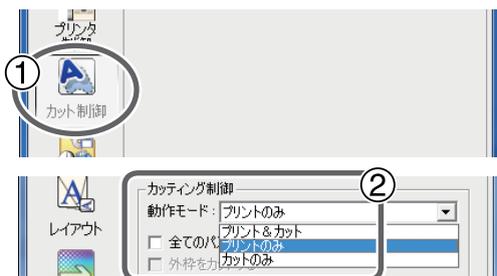
※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



### 4 プリンターの動作を設定する。

①  をクリックする。

② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



### 5 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.39「印刷開始」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

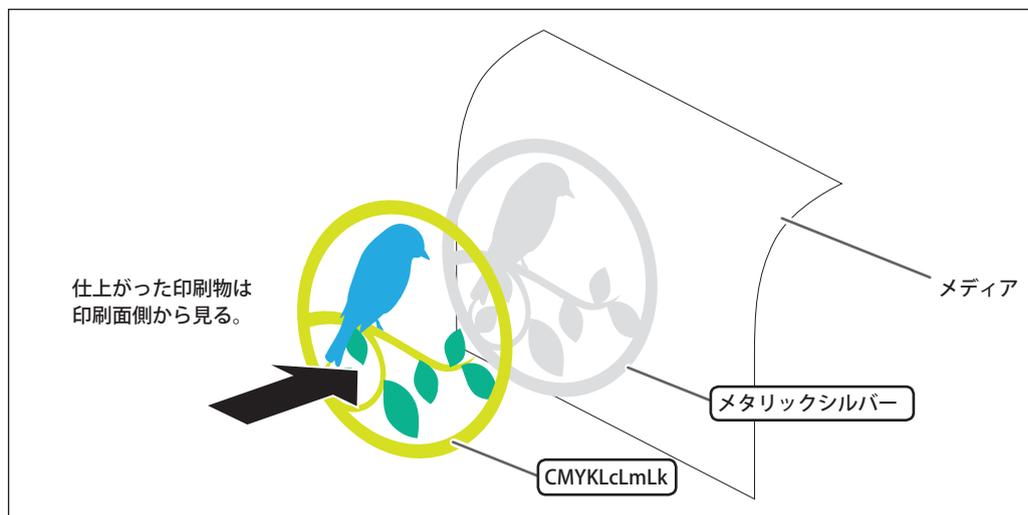
## レイヤー印刷 (メタリックシルバー → CMYKLcLmLk)

ここでは、メタリックシルバーインクを下地にして CMYKLcLmLk インクを重ねるレイヤー印刷の方法を説明します。

⇨ P.8「ブレンド印刷とレイヤー印刷について」

レイヤー印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYKLcLmLk インクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

(印刷のイメージ図)



### 手順

- 1 印刷データを作成する。

⇨ P.10「印刷データの作成」

- 2  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

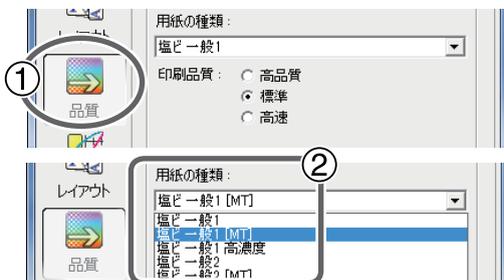


### 3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。

② [用紙の種類] で「塩ビ一般 1 [MT]」など、[MT] が付いた名称を選択する。

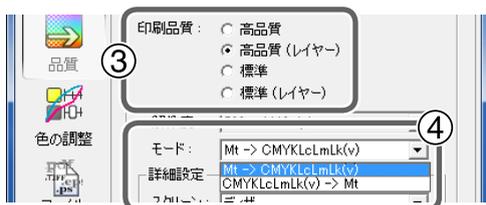
使用するメディアに合わせて選択してください。[MT] 付を選択すると、メタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。



③ [印刷品質] で「高品質 (レイヤー)」または「標準 (レイヤー)」を選択する。

④ [モード] が選択できる場合は、「Mt -> CMYKcLmLk (v)」を選択する。

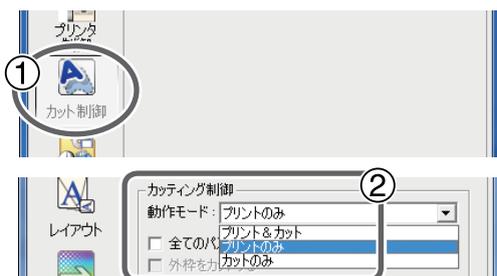
※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



### 4 プリンターの動作を設定する。

①  をクリックする。

② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



### 5 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 39「印刷開始」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

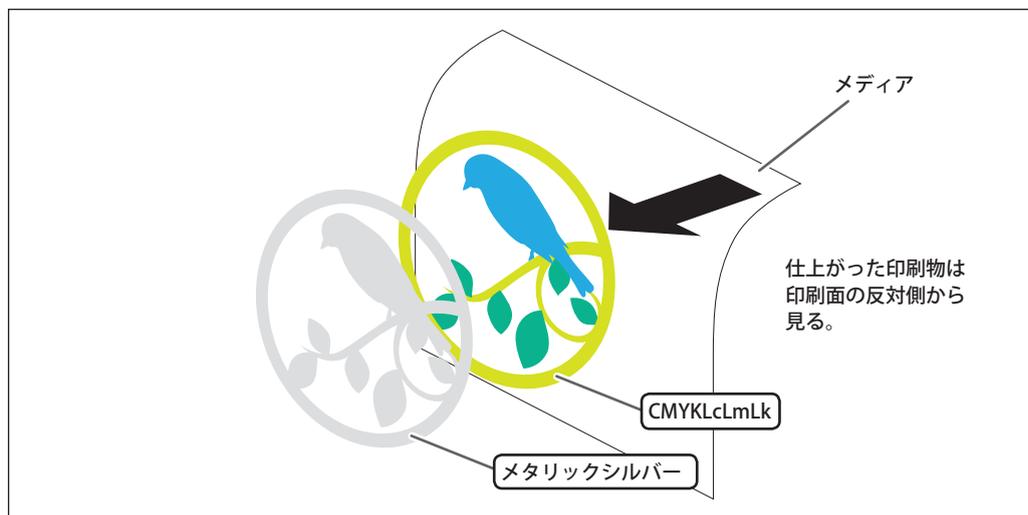
## レイヤー印刷 (CMYKLcLmLk → メタリックシルバー)

ここでは、CMYKLcLmLkを下地にしてメタリックシルバーインクを重ねるレイヤー印刷の方法を説明します。

☞ P.8「ブレンド印刷とレイヤー印刷について」

レイヤー印刷を行うには、メタリックシルバーインクとCMYKLcLmLkインクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

(印刷のイメージ図)



### 手順

**1** 印刷データを作成する。

☞ P.10「印刷データの作成」

**2**  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



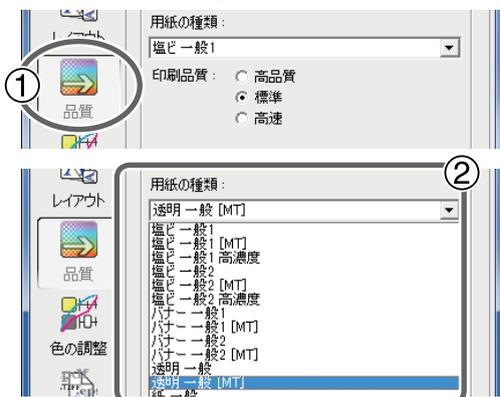
### 3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。

② [用紙の種類] で「透明一般 [MT]」または「xxx:透明フィルム糊付 [MT]」など、「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択すると、透明なメディアに対してメタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

※ xxx は、「SP-CLT」など



③ [印刷品質] で「高品質 (レイヤー)」または「標準 (レイヤー)」を選択する。

④ [モード] で「CMYKLcLmLk-> Mt (v)」を選択する。

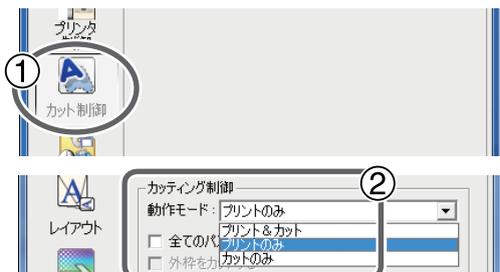
※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



### 4 プリンターの動作を設定する。

①  をクリックする。

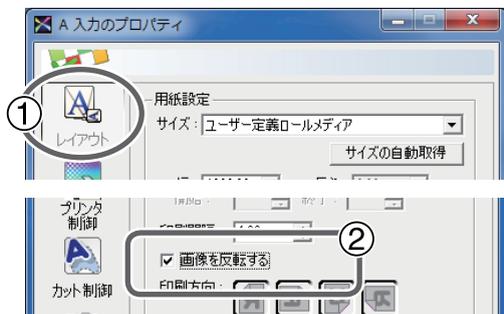
② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



## メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合

- ①  をクリックする。
- ② [画像を反転する] にチェックを入れる。

はじめから反転した印刷データをつくっている場合は、チェックを入れる必要はありません。



- ⑤ [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.39「印刷開始」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

## ホワイトのみで印刷する

ここではホワイトインクのみを使って印刷する方法を説明します。ホワイトインクを使うにはホワイトインクを使うように指定した印刷データを使用する必要があります。

## 手順

- ① 印刷データを作成する。  
☞ P.10「印刷データの作成」
- ②  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



### 3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

- ①  をクリックする。
- ② [用紙の種類] で「透明一般 [MT]」または「xxx : 透明フィルム糊付」など、「透明」が付いた名称を選択する。  
使用するメディアに合わせて選択してください。「透明」が付いた名称を選択すると、透明なメディアに対してホワイトインクを使用できる印刷モードを選択できます。

※ xxx は、「SP-CLT」など



#### 高品質の場合

- ③ [印刷品質] で「高品質」を選択する。
- ④ [解像度] で「720x1440dpi」を選択する。  
[モード] が「White (v)」になります。  
[解像度] が選択できないときは、[モード] で「White (v)」選択してください。



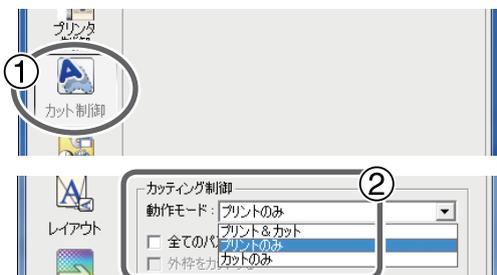
#### 標準の場合

- ③ [印刷品質] で「標準」を選択する。
  - ④ [モード] で「White (v)」を選択する。
- ※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



## 4 プリンターの動作を設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



## メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P. 30「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

## 5 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P. 39「印刷開始」に進んでください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

## ホワイトと CMYKLcLmLk で印刷する

ここではホワイトインクと CMYKLcLmLk インクを使って印刷する方法を説明します。ホワイトインクと CMYKLcLmLk インクのどちらを下地にするか、ということが印刷設定を決めるうえで大切なポイントです。

## 手順

## 1 印刷データを作成する。

⇨ P. 10「印刷データの作成」

2  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



### 3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。

② [用紙の種類] で「透明一般」または「xxx:透明フィルム糊付」など、「透明」が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。「透明」が付いた名称を選択すると、透明なメディアに対してホワイトインクを使用できる印刷モードを選択できます。

※ xxx は、「SP-CLT」など

※ [MT] が付いた名称は選ばないでください。[MT] 付きの名称は、メタリックシルバーインクを使う場合に選択します。

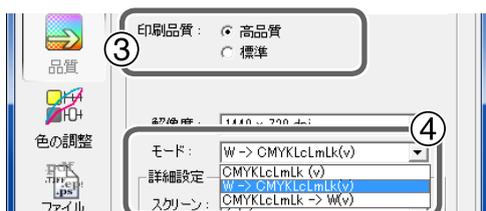


③ [印刷品質] で「高品質」または「標準」を選択する。

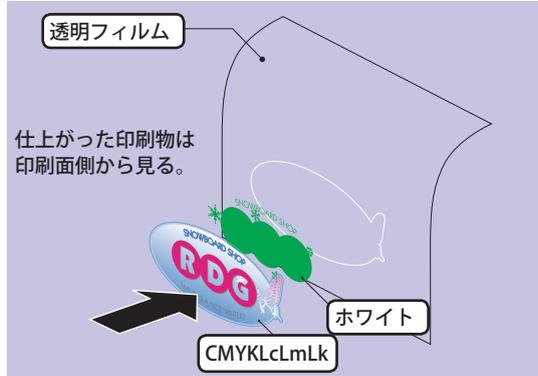
④ [モード] で印刷モードを選択する。

- W->CMYKLcLmLk (v) : ホワイト→CMYKLcLmLk の順に重なります。
- CMYKLcLmLk->W (v) : CMYKLcLmLk →ホワイトの順に重なります。

※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。

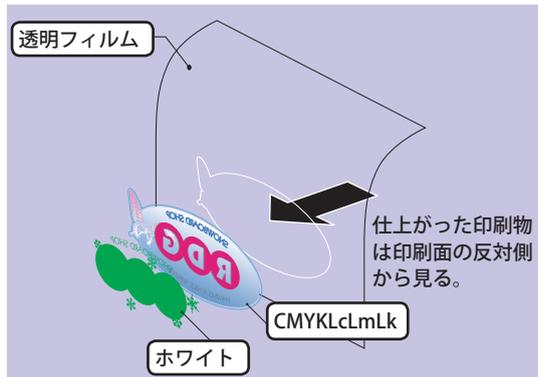


ホワイト → CMYKLcLmLk の順にインクを重ねるイメージ図



※ ホワイトと CMYKLcLmLk は一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

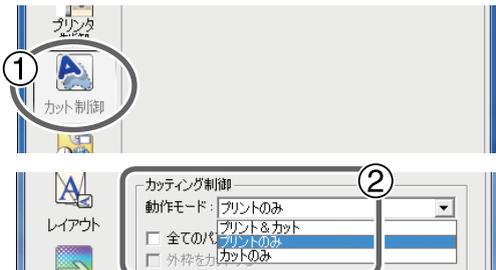
CMYKLcLmLk → ホワイトの順にインクを重ねるイメージ図



※ ホワイトと CMYKLcLmLk は一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

4 プリンターの動作を設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [動作モード] でプリンターの動作を選択する。



メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P. 30「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

- 5 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.39「印刷開始」に進んでください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

## ホワイトとメタリックシルバーと CMYKLcLm で印刷する

ここではホワイト、メタリックシルバー、CMYKLcLm インクを使って印刷する方法を説明します。ホワイトインクとそれ以外のインク（メタリックシルバーと CMYKLcLm）のどちらを下地にするか、ということが印刷設定を決めるうえで大切なポイントです。

メタリックシルバーインクと CMYKLcLm インクを掛け合わせて印刷する部分はブレンド印刷に固定されます。

### 手順

- 1 印刷データを作成する。

⇨ P.10「印刷データの作成」

- 2  をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



### 3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。

② [用紙の種類] で「透明一般 [MT]」または「xxx:透明フィルム糊付 [MT]」など、「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択すると、透明なメディアに対してメタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

※ xxx は、「SP-CLT」など



③ [印刷品質] で「高品質」または「標準」を選択する。

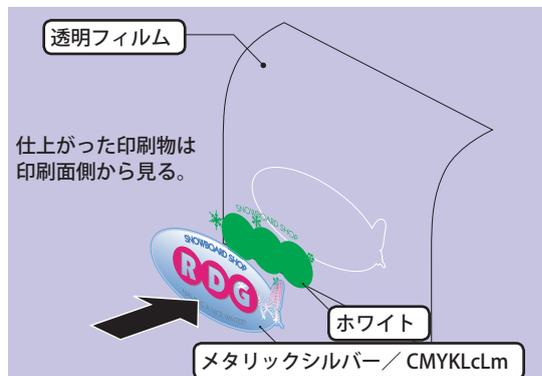
④ [モード] で印刷モードを選択する。

- W->CMYKLcLmMt (v)：ホワイト→メタリックシルバー／CMYKLcLm の順に重なります。
- CMYKLcLmMt->W (v)：メタリックシルバー／CMYKLcLm →ホワイトの順に重なります。

※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。

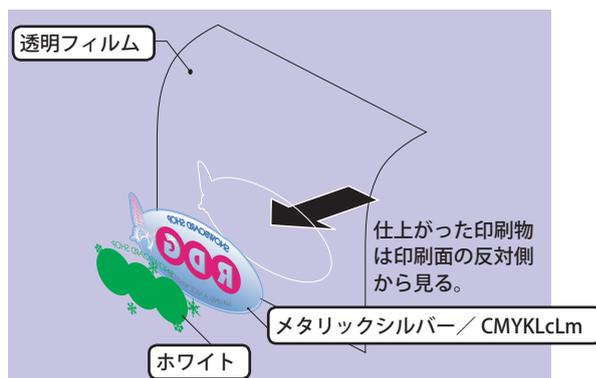


### ホワイト→メタリックシルバー／CMYKLcLmの順にインクを重ねるイメージ図



※ ホワイトとメタリックシルバー／CMYKLcLmは一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

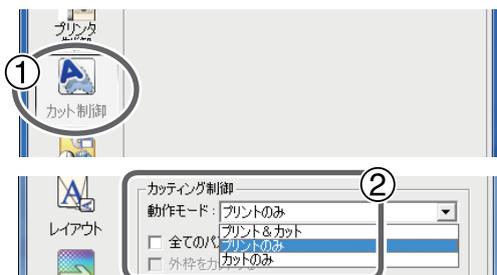
### メタリックシルバー／CMYKLcLm→ホワイトの順にインクを重ねるイメージ図



※ ホワイトとメタリックシルバー／CMYKLcLmは一度に印刷されますが、印刷順を示すために別々の層で表現しています。

#### 4 プリンターの動作を設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [動作モード]でプリンターの動作を選択する。



### メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P.30「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

### 5 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。

これで印刷設定は完了です。印刷を開始する場合は、P.39「印刷開始」に進んでください。

※ ここではメタリックシルバーインクとホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。  
その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

# 印刷開始

## 印刷を開始する

印刷設定が完了したら、印刷を開始します。

### 手順

#### 1 印刷設定を行う。

☞ P. 20「印刷設定」

#### 2 「ジョブリスト」の「A入力」タブをクリックし、印刷データをA入力のジョブリスト（印刷設定をB入力にて行っている場合はB入力のジョブリスト）にドラッグ&ドロップする。



データの内容がプレビューウィンドウに、メディア上でのレイアウトがレイアウトウィンドウに表示されます。



### メモ

ホワイトで印刷する部分が斜線で表示されていない場合は、特色インクを使用した印刷になりません。特色のスポットカラーを指定した部分が斜線になっていることを確認して印刷してください。

- ③ ジョブリストにある印刷ジョブを選択し、をクリックする。

印刷を開始します。



#### メモ

印刷後は、十分に乾燥させてください。また、ラミネート加工することを強くおすすめします。

#### メモ

続けて同様の印刷データを印刷する場合は、手順②③を繰り返してください。また、ジョブごとに細かな設定を変えたい場合は、「ジョブの設定」画面（ジョブリストにある印刷ジョブをダブルクリックすると表示）で行うと便利です。

# 第3章 詳細編

引戻し印刷.....	42
引戻し印刷（ホワイト→メタリックシルバー /CMYKLcLm）.....	42
引戻し印刷（メタリックシルバー /CMYKLcLm→ホワイト）.....	49
メタリックテキストチャ印刷.....	56
メタリックテキストチャ印刷とは.....	56
メタリックテキストチャのパターンを確認する.....	56
メタリックテキストチャを使ったデータを印刷する.....	58
より進んだ操作.....	60
ジョブごとに印刷設定を行う.....	60
特色版を生成する.....	61
特色版の位置を補正する.....	62
特色版のサイズを補正する.....	64
メンテナンス.....	66
インク循環のメッセージ.....	66
色ムラやドット抜けが直らない場合は.....	66

# 引戻し印刷

## 引戻し印刷（ホワイト→メタリックシルバー /CMYKLcLm）

ここではホワイト→メタリックシルバー / CMYKLcLm の順に印刷を行う方法を説明します。ホワイトインクで印刷し、一定の乾燥時間をとった後にメディアをいったん引戻してからメタリックシルバーやCMYKLcLm インクによる印刷を重ねます。

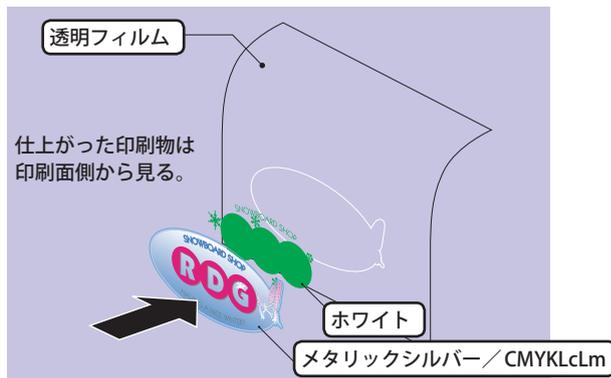
なお、ホワイトインクを使うには「RDG\_WHITE」、メタリックシルバーインクを使うには「RDG\_MetallicSilver」や「RVW-MT-Bronze」などのメタリックカラーが含まれた印刷データを使用する必要があります。

☞ P.10「印刷データの作成」

### 重要

この印刷方法では、印刷面を汚さないためのいくつかの注意事項があります。P.6「「引戻し印刷」を行う場合」を参照してください。

### ホワイト⇒メタリックシルバー / CMYKLcLm の順に印刷するイメージ図



## 1. ホワイトインクのみを印刷する。

### ① 印刷データを作成する。

☞ P.10「印刷データの作成」

### ② をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



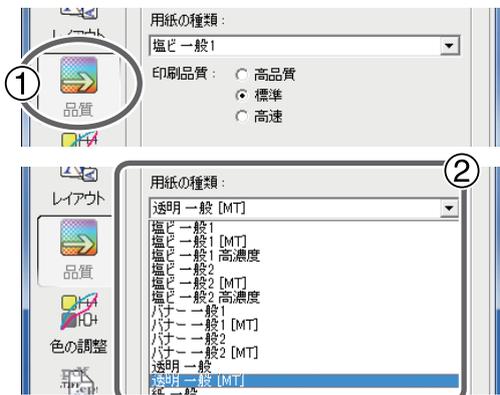
3 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

①  をクリックする。

② [用紙の種類] で「透明一般 [MT]」または「xxx:透明フィルム糊付 [MT]」など、「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択すると、透明なメディアに対してメタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

※ xxx は、「SP-CLT」など



③ [印刷品質] で「高品質」または「標準」を選択する。

④ [モード] で印刷モード「White (v)」を選択する。

RDG\_WHITE だけを印刷します。

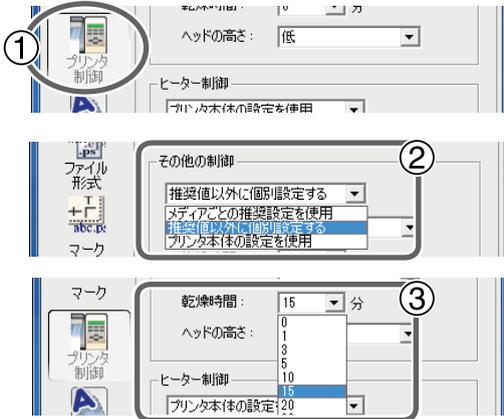
※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



4 ホワイトを印刷後の乾燥時間を設定する。

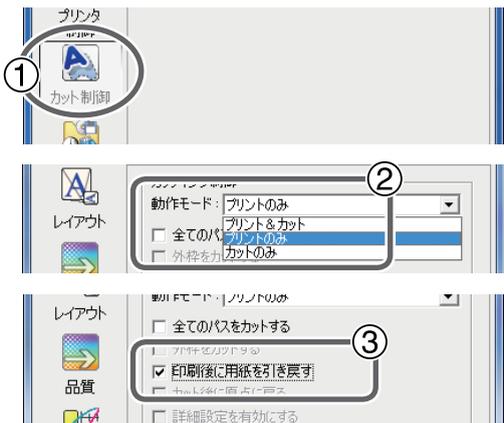
- ①  をクリックする。
- ② [その他の制御] で「推奨値以外に個別設定する」を選択する。
- ③ [乾燥時間] で「15分」を選択する。

補助乾燥装置（DU シリーズ）を使用する場合の目安です。



5 プリンターの動作を設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [動作モード] で「プリントのみ」を選択する。
- ③ [印刷後に用紙を引き戻す] にチェックを入れる。



メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P.30「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

※ ここではホワイトインクを使うために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorks のオンラインヘルプを参照してください。

- 6 [OK] をクリックして「A 入力のプロパティ」画面を閉じる。
- 7 「ジョブリスト」の「A 入力」タブをクリックし、印刷データを A 入力のジョブリストにドラッグ&ドロップする。



データの内容がプレビューウィンドウに、メディア上でのレイアウトがレイアウトウィンドウに表示されます。



- ⑧ ジョブリストにある印刷ジョブを選択し、 をクリックする。

印刷を開始します。印刷後、乾燥時間をとった後にメディアが引き戻されます。続けて、メタリックシルバーと CMYKLcLm の部分の印刷を行います。



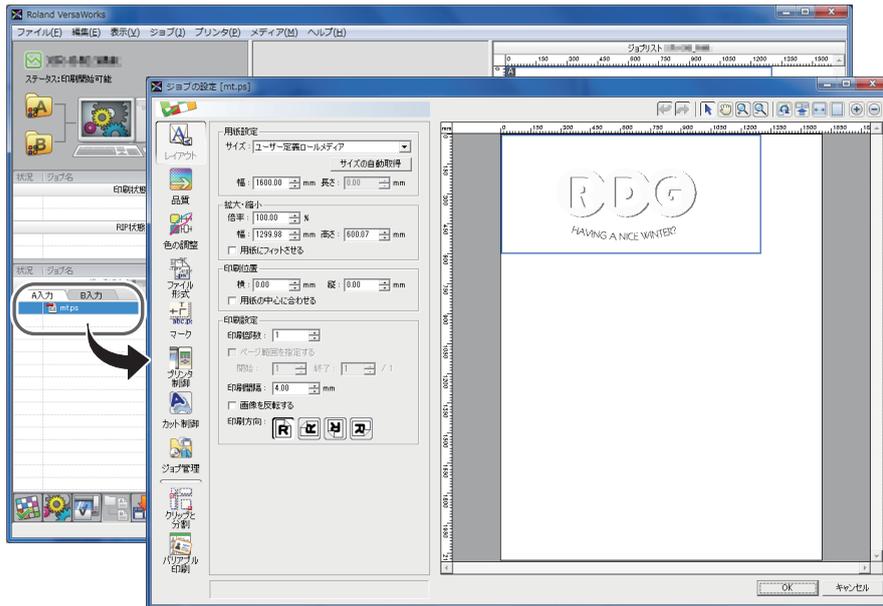
3

詳細編

## 2. メタリックシルバー／CMYKLcLm を印刷する。

- ① 手順 1. で使用した印刷ジョブをダブルクリックする。

「ジョブの設定」画面が表示されます。



2 印刷品質と印刷モードを選択する。

ブレンド印刷にする場合

- ①  をクリックする。
- ② [印刷品質]で「高品質」または「標準」を選択する。
- ③ [モード]で印刷モード「CMYKLcLmMt (v) onWhite」を選択する。

RDG\_MetallicSilver、RVW-MT-Bronzeなどのメタリックカラー、CMYKLcLmで指定されている部分を印刷します。



レイヤー印刷にする場合

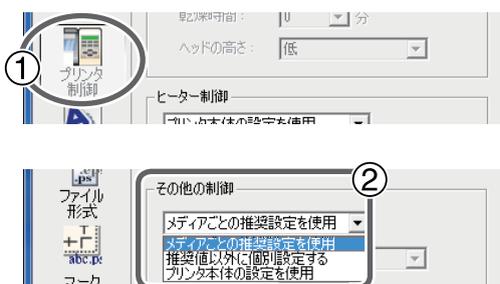
- ①  をクリックする。
- ② [印刷品質]で「高品質 (レイヤー)」または「標準 (レイヤー)」を選択する。
- ③ [モード]で印刷モード「Mt -> CMYKLcLm (v)」を選択する。

RDG\_MetallicSilver、RVW-MT-Bronzeなどのメタリックカラー、CMYKLcLmで指定されている部分を印刷します。



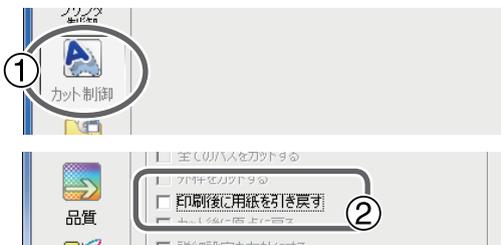
3 そのほかの制御は「メディアごとの推奨設定」を使用するように設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [その他の制御]で「メディアごとの推奨設定を使用」を選択する。



4 印刷後にメディアを引き戻さないように設定する。

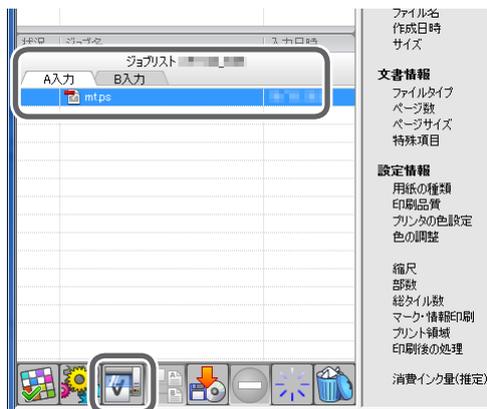
- ①  をクリックする。
- ② [印刷後に用紙を引き戻す]のチェックを外す。



5 [OK] をクリックして「ジョブの設定」画面を閉じる。

6 ジョブリストにある印刷ジョブを選択し、 をクリックする。

印刷を開始します。



メモ

印刷後は、十分に乾燥させてください。また、ラミネート加工することを強くおすすめします。

メモ

続けてメタリックシルバーとホワイトとCMYKLCmを使った別のデータを印刷する場合は、手順1-9以降を繰り返してください。また、ジョブごとに細かな設定を変えたい場合は、「ジョブの設定」画面（ジョブリストにある印刷ジョブをダブルクリックすると表示）で行うと便利です。

## 引戻し印刷（メタリックシルバー / CMYKLcLm → ホワイト）

ここではメタリックシルバー / CMYKLcLm → ホワイトの順に印刷を行う方法を説明します。メタリックシルバーや CMYKLcLm インクで印刷し、一定の乾燥時間をとった後にメディアをいったん引戻してからホワイトインクによる印刷を重ねます。

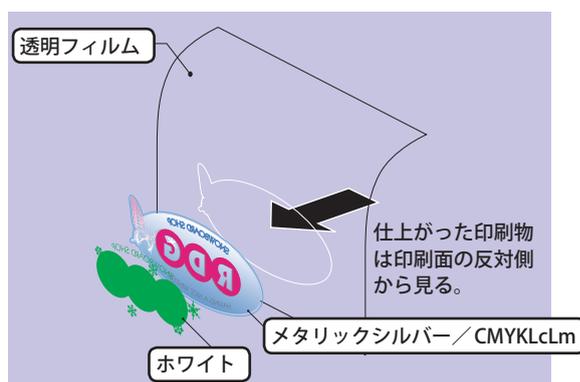
なお、メタリックシルバーインクを使うには「RDG\_MetallicSilver」や「RVW-MT-Bronze」などのメタリックカラー、ホワイトインクを使うには「RDG\_WHITE」が含まれた印刷データを使用する必要があります。

⇨ P.10「印刷データの作成」

### 重要

この印刷方法では、印刷面を汚さないためのいくつかの注意事項があります。P.6「「引戻し印刷」を行う場合」を参照してください。

### メタリックシルバー / CMYKLcLm → ホワイトの順に印刷するイメージ図



3

詳細編

## 1. メタリックシルバー / CMYKLcLm を印刷する。

### ① 印刷データを作成する。

⇨ P.10「印刷データの作成」

### ② をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。



③ 用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。

メタリックシルバー／CMYKLcLm をブレンド印刷にする場合

①  をクリックする。

② [用紙の種類] で「透明一般 [MT]」または「xxx:透明フィルム糊付 [MT]」など、「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択する。

使用するメディアに合わせて選択してください。「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択すると、透明なメディアに対してメタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

※ xxx は、「SP-CLT」など



③ [印刷品質] で「高品質」または「標準」を選択する。

④ [モード] で印刷モード「CMYKLcLmMt (v) underWhite」を選択する。

RDG\_MetallicSilver、RVW-MT-Bronze などのメタリックカラー、CMYKLcLm で指定されている部分を印刷します。

※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



メタリックシルバー／CMYKLcLm をレイヤー印刷する場合

- ①  をクリックする。
- ② [用紙の種類] で「透明一般 [MT]」または「xxx:透明フィルム糊付 [MT]」など、「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択する。  
使用するメディアに合わせて選択してください。「透明」と [MT] の両方が付いた名称を選択すると、透明なメディアに対してメタリックシルバーインクを使用できる印刷モードを選択できます。

※ xxx は、「SP-CLT」など



- ③ [印刷品質] で「高品質」または「標準」を選択する。
- ④ [モード] で印刷モード「CMYKLcLm -> Mt (v)」を選択する。

RDG\_MetallicSilver、RVW-MT-Bronze などのメタリックカラー、CMYKLcLm で指定されている部分を印刷します。

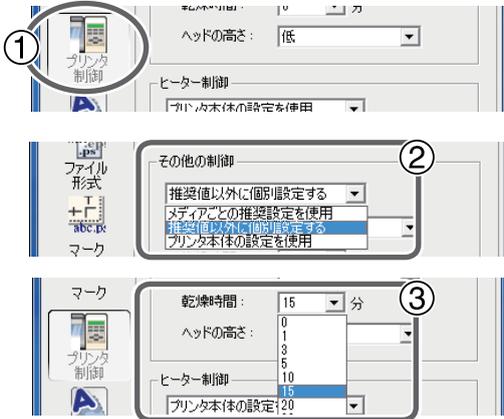
※ [モード] に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



4 メタリックシルバー／CMYKLcLm を印刷後の乾燥時間を設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [その他の制御] で「推奨値以外に個別設定する」を選択する。
- ③ [乾燥時間] で「15分」を選択する。

補助乾燥装置（DU シリーズ）を使用する場合の目安です。



5 プリンターの動作を設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [動作モード] で「プリントのみ」を選択する。
- ③ [印刷後に用紙を引き戻す] にチェックを入れる。



メモ

透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合は、P. 30「メモ：透明フィルムを使用して印刷面の反対側から見せたい場合」を参照してください。

- 6 「ジョブリスト」の「A入力」タブをクリックし、印刷データをA入力のジョブリストにドラッグ&ドロップする。



- 7 ジョブリストにある印刷ジョブを選択し、をクリックする。

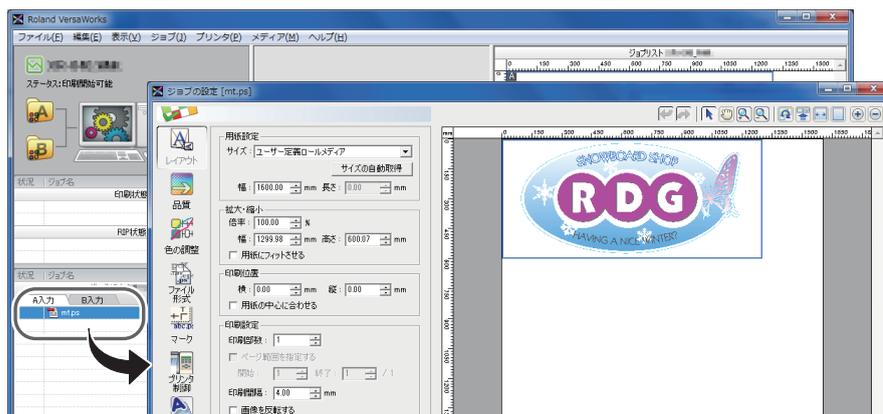
印刷を開始します。印刷後、乾燥時間をとった後にメディアが引き戻されます。続けて、ホワイトの部分の印刷を行います。



## 2. ホワイトインクのみを印刷する。

- 1 手順 1. で使用した印刷ジョブをダブルクリックする。

「ジョブの設定」画面が表示されます。



2 印刷品質と印刷モードを選択する。

- ①  をクリックする。
- ② [印刷品質]で「高品質」または「標準」を選択する。
- ③ [モード]で印刷モード「White (v)」を選択する。

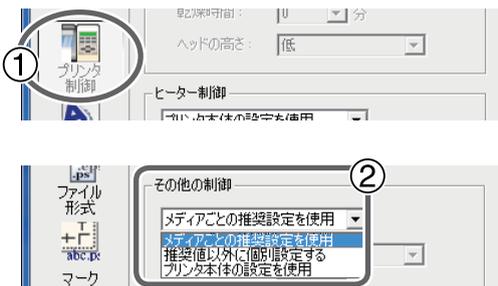
RDG\_WHITE だけを印刷します。

※ [モード]に表示される項目はご使用の機種によって異なります。



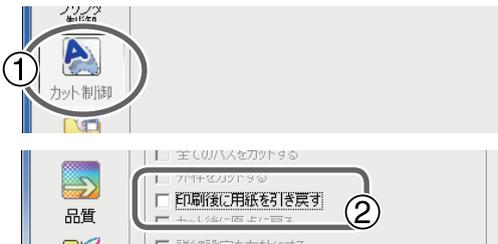
3 そのほかの制御は「メディアごとの推奨設定」を使用するように設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [その他の制御]で「メディアごとの推奨設定を使用」を選択する。

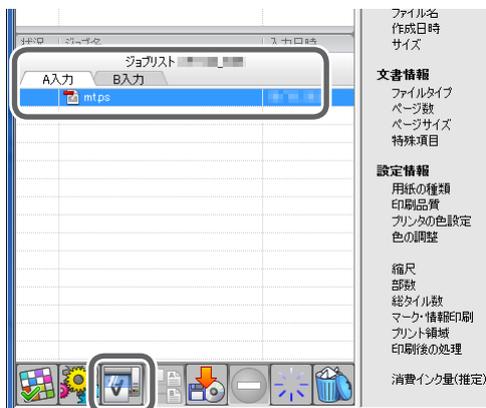


4 印刷後にメディアを引き戻さないように設定する。

- ①  をクリックする。
- ② [印刷後に用紙を引き戻す]のチェックを外す。



- 5 [OK] をクリックして「ジョブの設定」画面を閉じる。
- 6 ジョブリストにある印刷ジョブを選択し、 をクリックする。  
印刷を開始します。



**メモ**

印刷後は、十分に乾燥させてください。また、ラミネート加工することを強くおすすめします。

**メモ**

続けてメタリックシルバーとホワイトとCMYKLcLmを使った別のデータを印刷する場合は、手順**1-8**以降を繰り返してください。また、ジョブごとに細かな設定を変えたい場合は、「ジョブの設定」画面(ジョブリストにある印刷ジョブをダブルクリックすると表示)で行うと便利です。

※ ここでは、メタリックシルバー /CMYKLcLm →ホワイトの順に引き戻し印刷をするために必要な設定だけを行いました。その他の設定については、VersaWorksのオンラインヘルプを参照してください。

# メタリックテクスチャ印刷

## メタリックテクスチャ印刷とは

メタリックテクスチャ印刷とは、メタリックシルバーインクを使ったテクスチャパターンを表現する印刷方法です。専用ライブラリ「Metallic Texture System Library」のテクスチャパターンを使って印刷データを作成して出力します。

※ Adobe Illustrator で印刷データを作成する場合、CS以降のバージョンで作成してください。Adobe Illustrator 10より前のバージョンで印刷データを作成すると、テクスチャパターンをうまく印刷できないことがあります。

## メタリックテクスチャのパターンを確認する

メタリックテクスチャの印刷見本となるチャートを印刷して、テクスチャパターンを確認します。チャートを印刷することで「お使いのプリンター」と「お使いのメディア」で印刷できるメタリックテクスチャのパターンを確認できます。このチャートからテクスチャパターンを選んで印刷データを作成すれば、意図したパターンをほぼ正確に印刷できます（プリンターやメディアのコンディションによるわずかなパターンの差はあります）。

※ 実際に使用するものと同じメディアを使って印刷してください。

### 手順

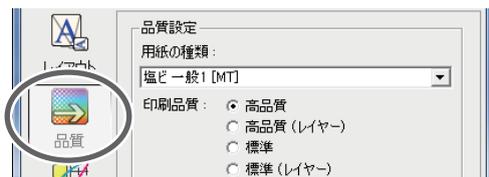
#### 1 をダブルクリックする。

「A 入力のプロパティ」画面が表示されます。

※ メタリックテクスチャのチャート出力は A 入力のみです。



#### 2 をクリックし、用紙の種類、印刷品質、印刷モードを選択する。



実際に使用するメディア（用紙）、印刷品質、印刷モードを選択してください。設定方法の詳細は、下記を参照してください。

- ⇨ P. 22「メタリックシルバーのみで印刷する」
- ⇨ P. 24「ブレンド印刷（メタリックシルバー + CMYK LcLmLk）」
- ⇨ P. 26「レイヤー印刷（メタリックシルバー → CMYK LcLmLk）」
- ⇨ P. 28「レイヤー印刷（CMYK LcLmLk → メタリックシルバー）」
- ⇨ P. 35「ホワイトとメタリックシルバーと CMYK LcLm で印刷する」

## メモ

メタリックテクスチャチャートの印刷では、[品質] の設定項目は [入力のプロパティ] 画面の設定が適用されます。ジョブリストに追加された後では、[ジョブの設定] 画面で設定を変更できませんので、必ず [入力のプロパティ] 画面で [品質] の設定をしてから以下の操作をしてください。

## 3 メタリックテクスチャチャートの印刷ジョブをジョブリストに追加する。

## ① メニューから [メディア] - [Roland Metallic Texture System Library の印刷] の下にある [Chart] をクリックする。

「以下の内容のジョブが印刷されます。続行しますか?」というメッセージが表示されます。表示されているページサイズに対して、プリンターにセットされているメディアのサイズが十分かどうか確認してください。

## ② [OK] をクリックする。

テクスチャチャートがジョブリストに追加されます。

4  をクリックする。

メタリックテクスチャチャートが印刷されます。



用紙の種類、印刷品質、印刷モードによってテクスチャの色味や質感が変わります。目的とする表現ができるように何度か試してください。

※ メタリックテクスチャのチャートは、テクスチャの下地に色が付いている部分があります。これは、テクスチャのデザインがわかりやすいようにするためのものです。

## メタリックテクスチャを使ったデータを印刷する

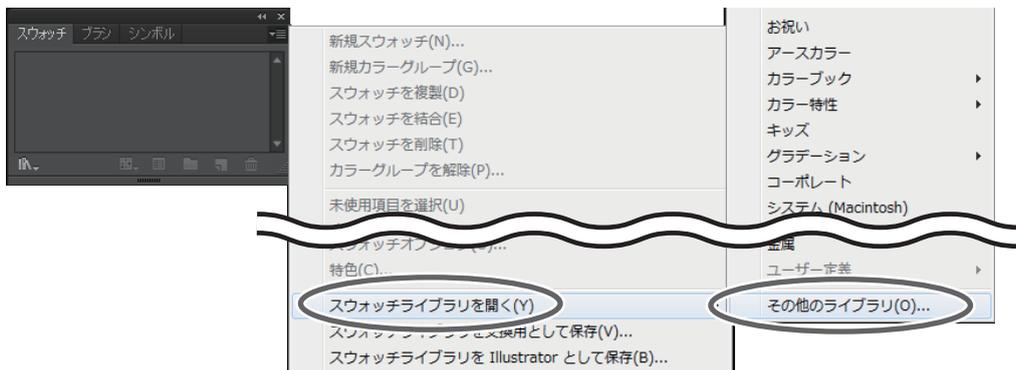
メタリックテクスチャ印刷のための印刷データを作成します。

ここでは、印刷データを作成するアプリケーションは Adobe Illustrator CS6 を使用します。描画の方法や各パレットの扱い方などの詳細は、Adobe Illustrator CS6 の取扱説明書またはオンラインヘルプ等をご覧ください。バージョンの異なる Adobe Illustrator をご使用の場合は、以下の説明とは一部の操作が異なります。

### 1. 専用ライブラリを開く。

- ① スウォッチパレットのメニューから「スウォッチライブラリを開く」→「その他のライブラリ」をクリックする。

※ スウォッチパレットは、メニューから「ウィンドウ」→「スウォッチ」を選択すると表示されます。



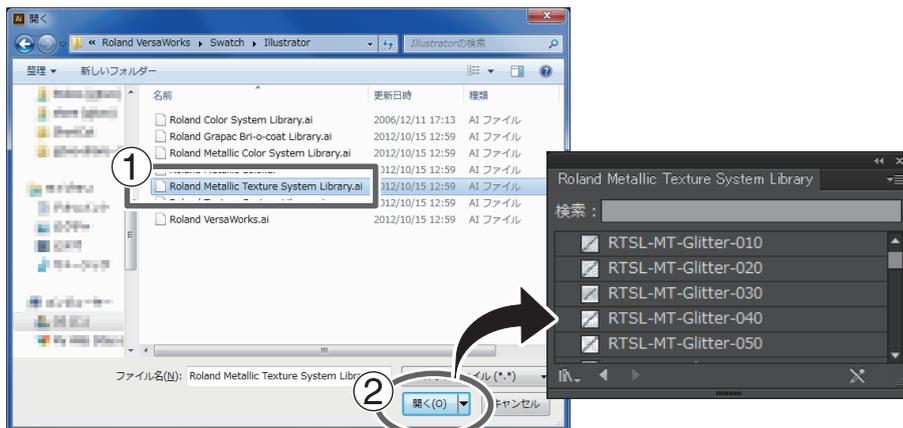
- ② 専用ライブラリを開く。

- ① 「コンピューター」→「ローカルディスク (C:)」→「Program Files」または「Program Files (x86)」→「Roland VersaWorks」または「Roland VersaWorks Dual」→「Swatch」→「Illustrator」の順にフォルダを開き、「Roland Metallic Texture System Library.ai」を選択する。

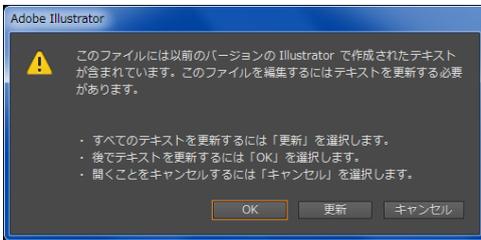
※ お使いのコンピューターの設定によっては「.ai」が表示されていないことがあります。

- ② 「開く」をクリックする。

テクスチャパターンが入った専用ライブラリ「Roland Metallic Texture System Library」が開きます。



図の画面が表示されたときは「OK」をクリックしてください。



### メモ

手順②で選択した「.ai」ファイルを下記のフォルダに保存すれば、Adobe Illustratorのライブラリに登録できます。登録すると、Adobe Illustratorを起動するたびにファイルを探す必要がなくなり、スウォッチパレットメニューから直接ライブラリを開けるようになります。

C:\Program Files\Adobe\Adobe Illustrator CS6\Presets\（言語の短縮名称）\スウォッチ

※ 「C」はお使いのコンピューターのローカルディスクです。

※ 「言語の短縮名称」はお使いの言語によって異なります。

※ お使いの Illustrator のバージョンによっては、「Presets\（言語の短縮名称）\スウォッチ」が「プリセット\スウォッチ」の場合があります。

## 2. イラストにテクスチャパターンを指定して、出力する。

### ① イラストを作成する。

イラストの描画は、必ず CMYK モードで行ってください。

### ② Roland Metallic Texture System Library から「RTSL-MT-Standard-020」などのメタリックテクスチャパターンを指定する。

Illustrator 上では、データ上にテクスチャパターン名称が表示されます。また、実際の印刷状態よりも粗く表示されます。



### ③ VersaWorks でメタリックシルバーインクを出力できる設定をして印刷する。

メタリックシルバーインクを使用するには、VersaWorks の印刷モードで「CMYKLcLmLkMt」などを選択する必要があります。設定方法の詳細は、「第 2 章 印刷編」を参照してください。

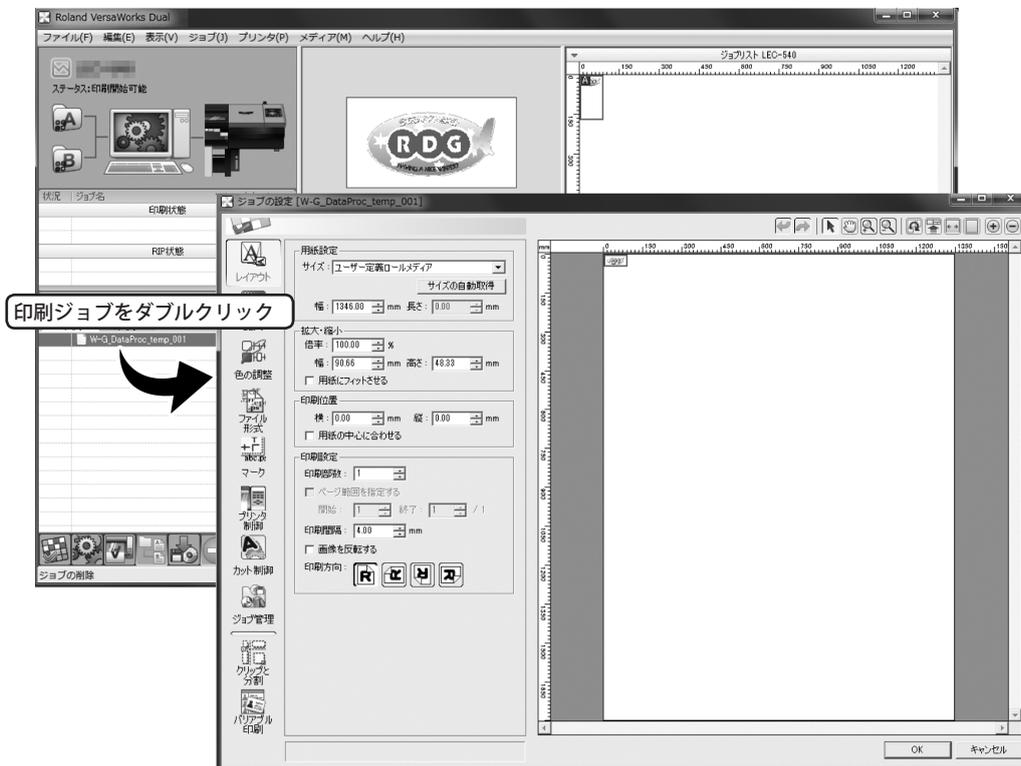
# より進んだ操作

## ジョブごとに印刷設定を行う

### 操作方法

印刷を開始する前に印刷ジョブをダブルクリックする。

「ジョブの設定」画面が開きます。この画面でプリンターの動作設定や色の調整など、ジョブ特有の設定を行います。



### 解説

多くのジョブを連続して出力するとき、個別のジョブごとに印刷設定が異なる場合は面倒なものです。そこで、印刷を開始する前にジョブごとの設定を「ジョブの設定」画面で行います。つまり、「入力のプロパティ」で共通の基本設定を行い、ジョブごとの設定は「ジョブの設定」で行うという考え方です。「ジョブの設定」では既に「入力のプロパティ」で行われている設定が反映されていますので、色の調整などのジョブ特有の設定ができます。

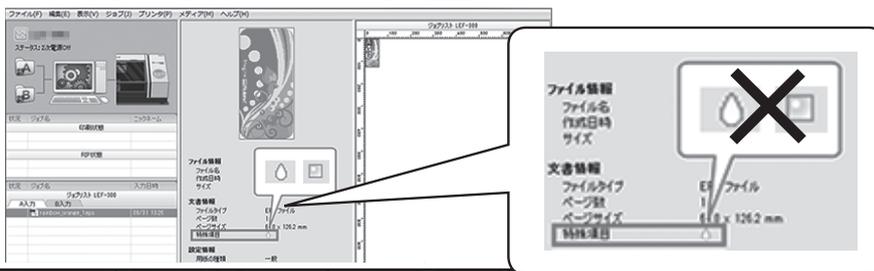
## 特色版を生成する

VersaWorks 上で特色版（ホワイト）を生成できます。Illustrator 上で特色版を設定したい場合は、P. 10「印刷データの作成」を参考にしてください。

※ この機能は VersaWorks Dual のみで使えます。

### 1. 特色版生成が可能なデータかどうかを確認する。

- ① 「ジョブリスト」から特色版を生成したいジョブを選択し、ダブルクリックする。  
[ジョブの設定] 画面が表示されます。
- ② [特殊項目] に   が表示されていないことを確認する。



下記のいずれかに該当するデータの場合、特色版生成は設定できません

- ・ [RDG\_WHITE] が使用されているベクター形式のデータ
- ・ ラスター形式のデータ
- ・ バリアブルデータ印刷用の差し替えデータ

### 2. 特色版を生成する。

- ①  をクリックする。  
[品質設定] の [モード] で、使用する特色インクモードを選択します。  
☞ P. 19「印刷モードについて」
- ②  をクリックする。
- ③ [特色版を生成する] をオンにする。  
[生成パターン] を選択します。

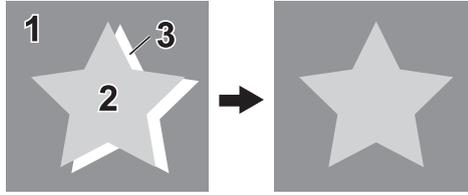
元画像	印字エリア	印字エリア外	画像全体
			
	オブジェクトの下に版を生成します。	オブジェクトのない箇所に版を生成します。	ジョブサイズ全体に版を生成します。

- ④ 「OK」をクリックする。

## 特色版の位置を補正する

下図のようにずれた特色版の印刷位置を補正します。

- 1 メディア
- 2 プロセスカラー
- 3 特色

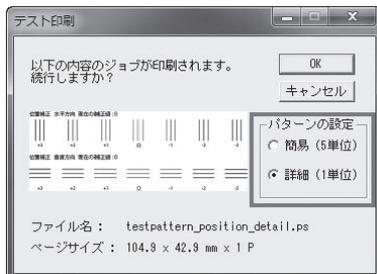


### 1. テスト印刷をする。

- ① 「ジョブリスト」から位置補正したい印刷データを選択し、ダブルクリックする。  
[ジョブの設定] 画面が表示されます。
- ②  をクリックする。
- ③ [品質設定]の[モード]で、使用する特色インクモードを選択する。  
⇨ P.19「印刷モードについて」
- ④  をクリックする。
- ⑤ [特色版補正]の[特色]リストボックスから補正する特色インクを選ぶ。
- ⑥ [テスト印刷] をクリックする。



- ⑦ [パターンの設定] を選択し、[OK] をクリックする。
  - ・ 簡易：位置ずれを大まかに調整する場合に選択します。
  - ・ 詳細：位置ずれを細かく調整する場合に選択します。



テストパターンが印刷されます。

## 2. 補正値を設定する。

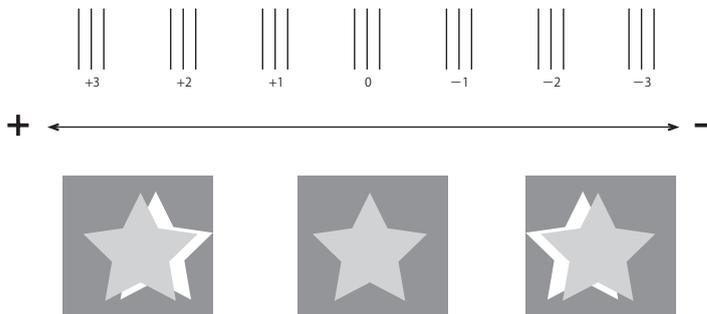
### ① [水平] [垂直] の補正値を入力する。

印刷されたテストパターンから、A (基準線：黒線) と B (特色の線) とのずれが最も小さいものを選びます。テストパターンに記載されている C ([水平] [垂直] の補正値) を入力します。

※ テストパターンの補正値はデータごとに異なります。補正値はデータごとに設定してください。



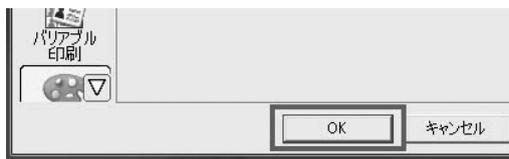
#### 水平方向の補正位置と印刷位置



#### 垂直方向の補正位置と印刷位置



### ② [OK] をクリックする。

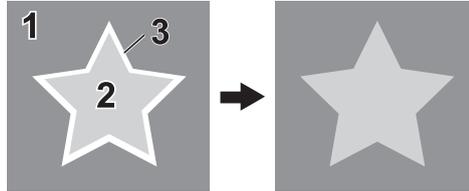


特色印刷データのサイズ調整が必要な場合は、続けて P.64「特色版のサイズを補正する」を行います。

## 特色版のサイズを補正する

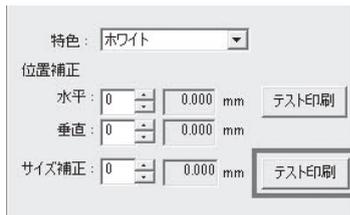
下図のようにサイズがずれた特色版を調整します。サイズを補正する場合は、位置補正を先に行うことをおすすめします。

- 1 メディア  
2 プロセスカラー  
3 特色

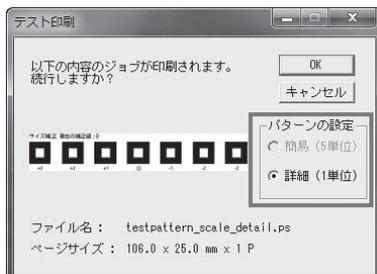


### 1. テスト印刷をする。

- ① 「ジョブリスト」からサイズ補正をする印刷データを選択し、ダブルクリックする。  
[A (B) 入力のプロパティ] 画面が表示されます。
- ②  をクリックする。  
[品質設定]の[モード]で、使用する特色インクモードを選択します。
- ③  をクリックする。  
[特色版補正]の[特色]リストボックスから補正する特色インクを選びます。
- ④ [テスト印刷] をクリックします。



- ⑤ [パターンの設定] を選択し、[OK] をクリックする。
  - ・ 簡易：位置ずれを大まかに調整する場合に選択します。
  - ・ 詳細：位置ずれを細かく調整する場合に選択します。



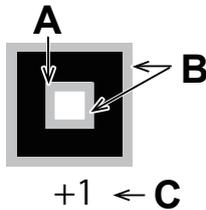
テストパターンが印刷されます。

## 2. 補正値を設定する。

### ① [サイズ] の補正値を入力する。

印刷されたテストパターンから、A（基準線：黒線）とB（特色の線）とのずれが最も小さいものを選びます。テストパターンに記載されているC（[水平] [垂直] の補正値）を入力します。

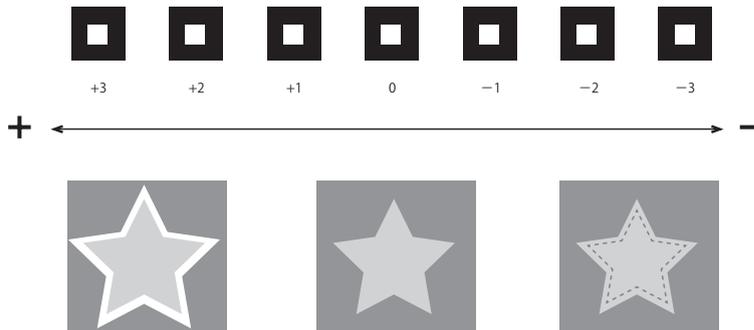
※テストパターンの補正値はデータごとに異なります。補正値はデータごとに設定してください。



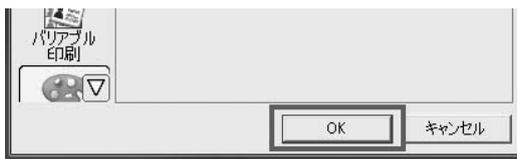
A 基準線（黒線）  
B 特色の線  
C 補正値

サイズ補正：

### 補正値と印刷位置



### ② [OK] をクリックする。



3

詳細編

# メンテナンス

## インク循環のメッセージ

本機では、インクの沈殿を防ぐためにホワイトとメタリックシルバーインクを定期的に循環させます。次のメッセージが表示されたら、表示が変わるまでお待ちください。

[インク ジュンカン シテイマス]

なお、上記のような自動メンテナンスを実施するために、次のことを守ってお使いください。

- ・メイン電源は常にオンにしておく。
- ・フロントカバーなどのカバー類を長時間開いたままにしない。
- ・各種メニューの設定が終わったらトップ画面に戻す。

### 3

#### 詳細編

## 色ムラやドット抜けが直らない場合は

ホワイトやメタリックシルバーインクは、長期間の放置などによってインクの吐出が不安定になる場合（ドット抜けなど）があります。これは、ホワイトやメタリックシルバーインクは成分が沈殿しやすい性質があるために、長期間放置すると沈殿し成分が固まるためです。このような場合は、お使いのプリンターのユーザーズマニュアルを参照して適切なクリーニングを実施してください。

クリーニングを実施してもドット抜けなどが直らない場合は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

 **Roland**